

館山小唄 復活へ

西条八十作詞、地元では忘れられ

立教大広告研が60年間歌い継ぐ

毎日新聞 2013年2月13日 地方版

とんどのいなくなった。

「タツタ館山 またおいで」——館山市の観光名所や名物を盛り込み、1952年にレコード化された「館山小唄」。今では地元でもその存在すらほとんど忘れ去られ、「幻のご当地民謡」となっていたが、半世紀余の時の壁を乗り越え、地元の民謡愛好家と立教大学の協力で再現されることになった。【中島章隆】

その幻の民謡を、歌い継いできた学生がいた。53年夏以降、同市の北条海岸で海の家「キャンプストア」を開設する立教大広告研究会のメンバーだ。

「富士も遠見の安房の海」などと、海の家への打ち上げなど飲み会のたび愛唱し、先輩から後輩へと受け継がれてきた。

「館山小唄」は西条八十作詞、上原げんと作曲で、52年にコロムビアレコードから発売された。かつては盆踊りなどで振り付けとともに市民にも愛されてきたというが、今では夏祭りで流されることもなく、旋律を覚えている人がほ

キャンプストアが今年、60周年を迎え、同研究会はOBが中心となり「60周年実行委員会」（委員長・茂木康三郎利根コカ・コーラボトリング会長）を組織。各種記念事業を企画する中で、愛唱歌が元歌と違っていないか確認するこ

とにした。

昨年秋、地元の民謡愛好会「花友会」（佐野信一代表）が相談を受け、半年かけて関係方面に問いあわせた結果、ジャケットや歌詞カードは失われていたが、同市立博物館の倉庫にレコード1枚が保管されていることが分かった。

今年9日、佐野代表がレコードの再生を試みたが、保存状態が良くなかったため雑音交じり。回転数の違いからか、低音で間延びした印象だったが、「昔、宴会で歌った」という市内の芸者さんも現れ、花友会が秋までに三味線、尺八で「正調・館山小唄」の譜面を作ることになった。「レコード発見」の連絡を受けた立教大の実行委員会は12日、茂木会長と杉本誠三副委員長が金丸謙一市長を表敬訪問。市側の協力を感謝し、11月に東京・池袋で行う60周年式典で復元した「館山小唄」を披露する計画を伝えた。

金丸市長は「私も館山小唄は知らなかった。学生たちが歌い継いでくれていたとは驚きで、感謝したい」と話している。

【館山小唄】

作詞 西条八十 作曲 上原げんと

1 夏はヨットの花咲く渚
キタシヨ

冬は菜の花 南風

波も人情もうららかに

タツタ 館山 またおいで
またおいで

2 水着姿のあの娘が拌む

キタシヨ
那古や船形 観音様が

守る海には 怪我もない

タツタ 館山 またおいで
またおいで

3 波の清さに つい引かされて
キタシヨ

干した水着を
ちよいとまた濡らす

富士も遠見の 安房の海

タツタ 館山 またおいで
またおいで

4 今夜来るかと わしや沖ノ島
キタシヨ

思う矢先に 来たよといわれ

胸の動悸が高の島
タツタ 館山 またおいで
またおいで

セント・パウル通信 第3回

「ゴールデンパールって何？」

55年卒 片田成一 / 協力 55年卒 高橋裕子

今年は御木本幸吉が真珠養殖に成功してから120年目の年にあたります。数々の困難を克服し養殖真珠を生み出したことは、彼の努力の賜物ですが、たくさんの幸運にも恵まれて日本を代表する産業にまで発展させることが出来ました。そのため、ミキモトのロゴの下に「SINCE 1893」と誇らしげに入れてあります。

今回も真珠に関する質問にお答えしたいと思います。

Q. ゴールデンパールというものがあるのですか？

A. レスリングの吉田沙保里選手が国民栄誉賞を受賞した際に副賞として希望された金色の真珠のことです。

11ミリ以上の大粒の真珠を作るには、白鯨貝という貝を使います。東南アジア(インドネシア、ミャンマー、フィリピン等)の沿岸とオーストラリアの沿岸の内海で養殖されていますので、取れた真珠は南洋真珠と呼ばれています。日本名は「白鯨貝」ですが、英語名は「ゴールドリップ・シェル」と「シルバーリップ・シェル」の2種類になっています。

東南アジアで養殖されているのが「ゴールドリップ・シェル」で、貝の内側のふちが金色です。そのため、ゴールデンパールが出来ます。貝の口をあけた時に唇が金色になっているということです。

以前は黄色味のある真珠は商品価値が下がってしまうということで、「ゴールドリップ・シェル」を使って白い真珠を作るようにしていました。しかし、近年、フィリピンの養殖場ではゴールデンパールに特化して真珠作りをしています。その結果、高品質なゴールデンパールが市場に出るようになってきました。吉田選手にお選びいただいた真珠もそのような中の一つです。

27

西条八十作詞 地元では忘れられ



立教大広告研が60年間歌い継ぐ

君津市給与水準首位

若手管理職急増